MITSUBISHI

0505873HE0402

三菱 業務用 ロスナイ

〈天吊埋込形マイコンタイプ〉(フリープラン対応形)

取付工事説明書

販売店・工事店さま用

形名

〈単相100V〉	〈単相200V〉
LGH-15RX4, LGH-25RX4,	LGH-15RX4D, LGH-25RX4D,
LGH-35RX4, LGH-50RX4,	LGH-35RX4D, LGH-50RX4D,
LGH-65RX4, LGH-80RX4,	LGH-65RX4D, LGH-80RX4D,
LGH-100RX4-50(50Hz専用)	LGH-100RX4D-50(50Hz専用)
LGH-100RX4-60(60Hz専用)	LGH-100RX4D-60(60Hz専用)

取付工事を始める前に、必ずこの取付工事説明書をお読みください。

取付工事は、必ず専門の工事店で実施してください。

別冊の「取扱説明書」はお客さま用です。取付工事が終わりましたらこの説明書とともに、お客さまに必ずお渡しください。

■この製品にはリモコンスイッチ他、別売のシステム部材が必要です。
カタログ等により別途ご用意ください。

安全のために必ず守ること

●誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を次の表示で区分して説明しています。

⚠警告 誤った取扱いをしたときに死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの

分解禁止	**改造や必要以上の分解をしない** 火災・感電・けがの原因。
浴室取付禁止	**浴室など湿気の多い場所には、本体・リモコンスイッチとも取付けない** 感電および故障の原因。
アース線接続	**単相200V製品はアースを確実に取付ける** アースを取付けないと故障や漏電のときに感電の原因。
指示に従う	**定格電圧、制御容量範囲内で使用する** 間違った電源で使用すると、火災や感電の原因。
指示に従う	**外気の取り入れは、燃焼ガス等の排気を吸い込まない、積雪で埋もれたりしない位置を選ぶ** 新鮮な空気が取り入れられず、室内が酸欠状態になる原因。
指示に従う	**本体の取付工事は十分強度のあるところを選んで確実に行う** 落下によりけがの原因。
指示に従う	**端子台接続部は、指定の電線を使用して、抜けないように確実に接続する** 接続に不備があると火災の原因。
指示に従う	**配線工事は電気設備の技術基準や内線規程に従って安全・確実に行う** 接続不良や誤った配線工事は感電や火災の原因。
指示に従う	**漏電保護用に電源側へ漏電ブレーカーを使用する** 漏電した場合火災の原因。
指示に従う	**金属製ダクトがメタルラス・ワイヤラス・ステンレス板などの金属と、接触しないように取付ける** 〔電気設備の技術基準 解釈 第167条3項〕 接触して取付けると、漏電した場合火災の原因。

⚠注意 誤った取扱いをしたときに傷害または建物・機械などの損害に結びつくもの

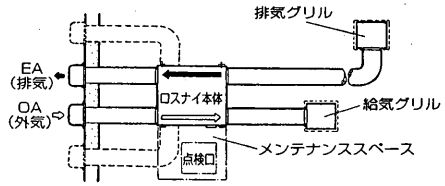
禁止	**高温(40℃以上)や直接炎があたったり、油煙の多い場所には取付けない** 火災の原因。
禁止	**機械および化学工場など酸・アルカリ・有機溶剤・塗料など有害ガス・腐食性成分を含んだガスが発生する場所には取付けない** 故障の原因。
禁止	**塩害・温泉害などの発生している場所には取付けない** 絶縁劣化による漏電火災や故障の原因。
指示に従う	**本体より室外側のダクトは室外に向かって下りこう配(1/30以上)になるように取付け、断熱処理を確実に行う** 雨水の浸入による漏電・火災や家財の損傷の原因。
指示に従う	**コントロールボックスカバーは施工後、必ず閉める** ほこり・湿気などにより漏電・火災の原因。
指示に従う	**取付け後長期間ご使用にならない場合は、必ず分電盤のブレーカーを切る** 絶縁劣化による感電や漏電火災の原因。
指示に従う	**吊りボルト・ナット・ワッシャーは必ず指定のものを使用する** 指定以外のものを使用すると、落下の原因。
指示に従う	**取付けの際は手袋を着用する** 着用しないとけがの原因。

お願い

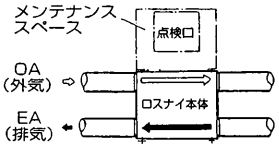
●高温多湿(30℃以上の時、相対湿度80%以上)になる地域や霧の多発地域で使用する場合、エレメント内部に結露が生じてドレンが発生することがあります。このような条件下では、耐湿形ロスナイをご使用ください。
●天井材は共鳴しにくい材質をご使用ください。
●製品を運転しない場合でも室内外の圧力差や外風により外気が製品内に侵入するおそれがあります。
電動ダンパーの併用をお勧めします。
●寒冷地や外風の強い場所並びに霧の発生し易い場所では運転停止時に、冷気・外風・霧が侵入することがあります。
電動ダンパーの併用をお勧めします。
●寒冷地地域などでは使用条件範囲内で使用する場合でも、外気条件と天井裏温湿度条件によって、本体表面及びダクト接続部他が結露、結氷するおそれがあります。このような条件下で使用される場合は断熱材の追加工事を行ってください。
別売の「寒冷地設置用断熱材」(受注対応品)を準備しています。
(寒冷地設置用断熱材の各機種サイズへの裁断および商品への貼り付けはお客様にて実施となります)
※結露条件例　外気：−5℃以下、設置場所露点温度：10℃以上(天井裏温度22℃以上で相対湿度50%以上の時など)
●濡れて困るものの上に製品を設置しないでください。外気や設置場所の温湿度条件により製品から露が落ちる場合があります。
●雨水浸入防止対策を施してください。(標準取付例の雨水浸入防止をご参照ください)
●給気・排気が混ざらない配管工事を行ってください。
●屋外フード近くに窓面などがあり、照明光に虫が集まりやすい環境下でご使用の場合には、別売の虫侵入防止用部品(受注対応品)などを取付けることをおすすめします。
(室内給気へ小さな虫が侵入するおそれがあります)
●次のようなダクト工事はしないでください。
(風量低下や異常音発生の原因になります)

標準取付例

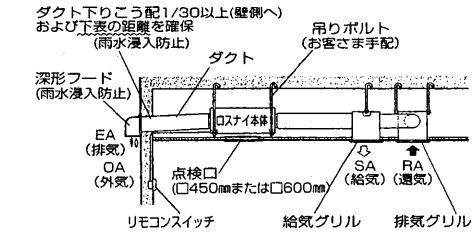
※破線のように室外側ダクトの方向が変換できます。

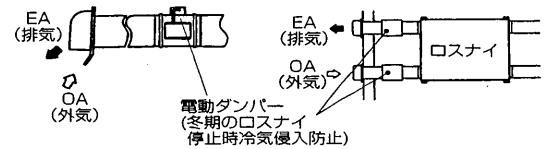


※天地逆取付も可能です



ダクト接続フランジを取付けてから、メンテナンスカバーを取りはずし、180°回転させ再度取付けます。



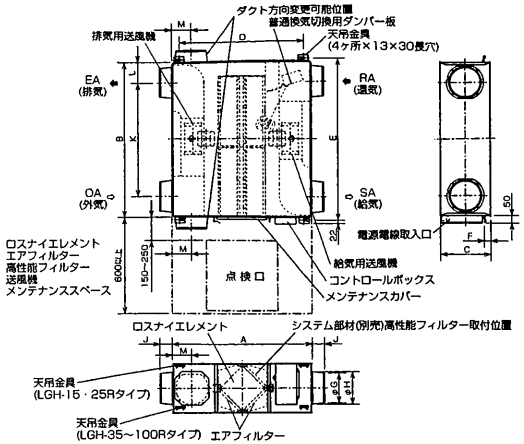


形　名	距 離
LGH-15〜65Rタイプ	1m以上
LGH-80・100Rタイプ	2.5m以上

メモ

●LGH-80タイプ 200V用
60Hz地域では機外静圧29Pa以上でご使用ください。

外形寸法図



付属部品

形　名	取付ネジ	ダクト接続フランジ
LGH-15Rタイプ 〜 LGH-100Rタイプ	16本	4個(SA、EA側に重ねて入っています)

単位(mm)

形　名	外形			天井吊金具ピッチ			呼び径	ダクト接続フランジ			ダクトピッチ			質量
	A	B	C	D	E	F		G	H	J	K	L	M	(kg)
LGH-15Rタイプ	780	610	275	700	641	10*	100	97.5	110	54	450	80	119	17
LGH-25Rタイプ	780	735	275	700	765	10*	150	142	160	63	530	102.5	102	21
LGH-35Rタイプ	888	874	317	790	906	36	150	142	160	63	650	112	124	30
LGH-50Rタイプ	888	1016	317	790	1048	36	200	192	208	79	745	135.5	124	33
LGH-65Rタイプ	908	954	388	810	985	37	200	192	208	79	690	132	124	46
LGH-80Rタイプ	1164	1004	398	1030	1036	10	250	242	258	79	690	157	149	61
LGH-100Rタイプ	1164	1231	398	1030	1263	10	250	242	258	79	920	155.5	149	69(72)

*天面からの距離を示す。(LGH-15R・25Rタイプ)
(　) 内の数値は100RS4D-60の場合を示す。

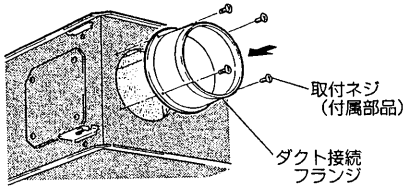
取付方法

この製品は、室外側ダクト(EA・OA)の方向を変換することができます。
詳しくは「室外側ダクト(EA・OA)の方向を変換する場合」を参照してください。

ロスナイ本体の取付け

※図はLGH-65Rタイプを示す。

1



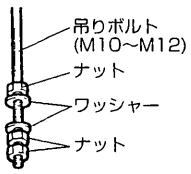
ダクト接続フランジの取付け

ダクト接続フランジを付属の取付ネジで本体に取付ける。

お願い

- ダクト接続フランジを取付ける前に本体内に異物(紙・ビニールなど)が入っていないことを確認してください。
- SA・RA側にパッキン付きのダクト接続フランジを取付けてください。

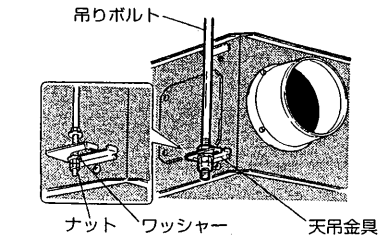
2



ワッシャー・ナットの取付け

あらかじめ埋め込んである市販の吊りボルト(M10~M12)に左図のように市販のワッシャー(外径M10で21㎜以上、M12で24㎜以上)・ナットを取付ける。

3



本体の固定

1.天吊金具を吊りボルトに引っ掛け本体が水平になるよう調節する。
2.ゆるみ防止のためダブルナットで確実に締め付ける。

お願い

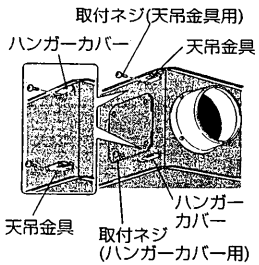
- 本体を吊り上げるとき、コントロールボックスに力が加わるような取扱いをしないでください。
- 吊りボルトは耐震など必要に応じ、振れ止め用耐震支持部材にて補強を行ってください。

吊りボルトが短い場合、天吊金具を付け換えます。

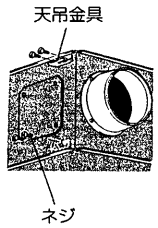
(LGH-35R~65Rタイプ)

1.上側の取付位置にあるハンガーカバーをはずす。
2.天吊金具と押さえ金具(65Rタイプ除く)をはずし、上側の取付位置に取付ける。
3.天吊金具をはずしたネジ穴にハンガーカバーを取付け空気漏れを防止する。

ハンガーカバーと天吊金具の取付ネジは異なります。
間違えないように取付けてください。



(LGH-35R~65Rタイプ)

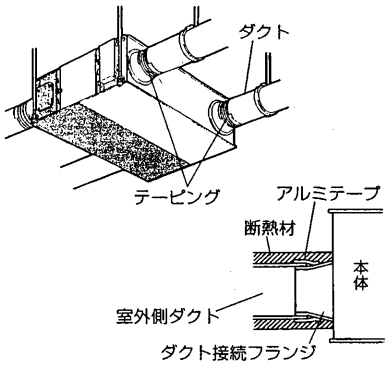


(LGH-80R・100Rタイプ)

(LGH-80R・100Rタイプ)

1.天吊金具をはずし、上側の取付位置に取付ける。
2.天吊金具をはずしたネジ穴にネジを締め付け、空気漏れを防止する。

4



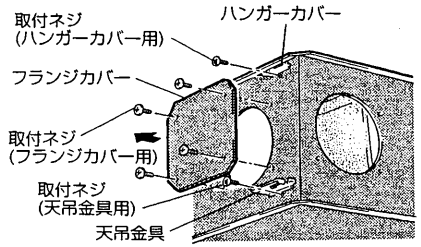
ダクトの接続

1.ダクトをダクト接続フランジにしっかり差し込み、風漏れのないよう市販のアルミテープを巻き付ける。
2.ダクトはロスナイ本体に力が加わらないよう天井から吊す。
3.室外側ダクト2本には、結露防止のため必ず断熱材を巻き付ける。

お願い

- ダクト接続をする前にダクトの中に切り粉、異物(紙・ビニールなど)が入っていないことを確認してください。
- ダクト接続工事の際に本体内のダンパー板には触れないでください。
- 夏期冷房時、ロスナイ本体が設置される雰囲気温度が高温になると予想される場合は、室内側ダクト配管にも断熱処理することをおすすめします。

室外側ダクト(EA・OA)の方向を変換する場合

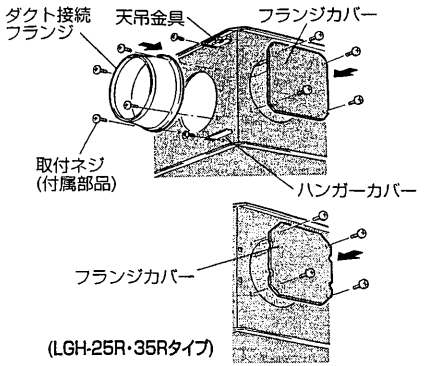


フランジカバー・ハンガーカバー・天吊金具の取りはずし

1.フランジカバーの取付ネジ(4本)をはずし、フランジカバーを取りはずす。
2.LGH-35R~100Rタイプは、ハンガーカバー・天吊金具の取付ネジをはずし、ハンガーカバー・天吊金具と押さえ金具(35R・50Rタイプのみ)を取りはずす。

- LGH-15R・25Rタイプは、取りはずさないでください。

取付方法 つづき



ダクト接続フランジの取付け

1.ダクト接続フランジを、付属の取付ネジで本体に取付ける。
2.取りはずしたフランジカバーを、取りはずした取付ネジ（4本)で締め付ける。
●LGH-25R・35Rタイプのフランジカバーの取付けは、左図のように取付けます。
3.LGH-35R～100Rタイプは取りはずした天吊金具と押さえ金具(35R・50Rタイプのみ)を上側の位置に、ハンガーカバーを下側に付け換える。

ハンガーカバーと天吊金具の取付ネジは異なります。間違えないように取付けてください。

この製品はシステム構成により電気工事の方法が異なります。
それぞれ必要な部分の電気工事を行ってください。

電気工事

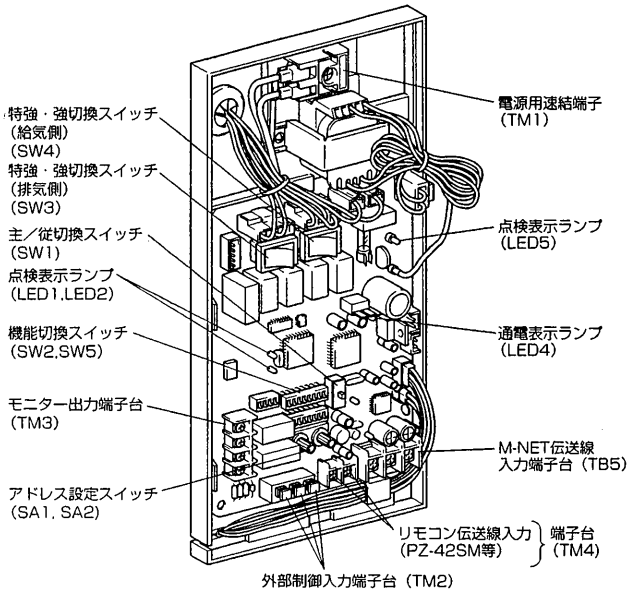
⚠警告

●**定格電圧、制御容量範囲内で使用する**
間違った電源を使用すると、火災や感電の原因。

●**配線工事は電気設備の技術基準や内線規程に従って安全・確実に行う**
接続不良や誤った配線工事は感電や火災の原因。

●**端子台接続部は指定の電線を使用して、抜けないよう確実に接続する**
接続に不備があると火災の原因。

コントロールボックス内の名称

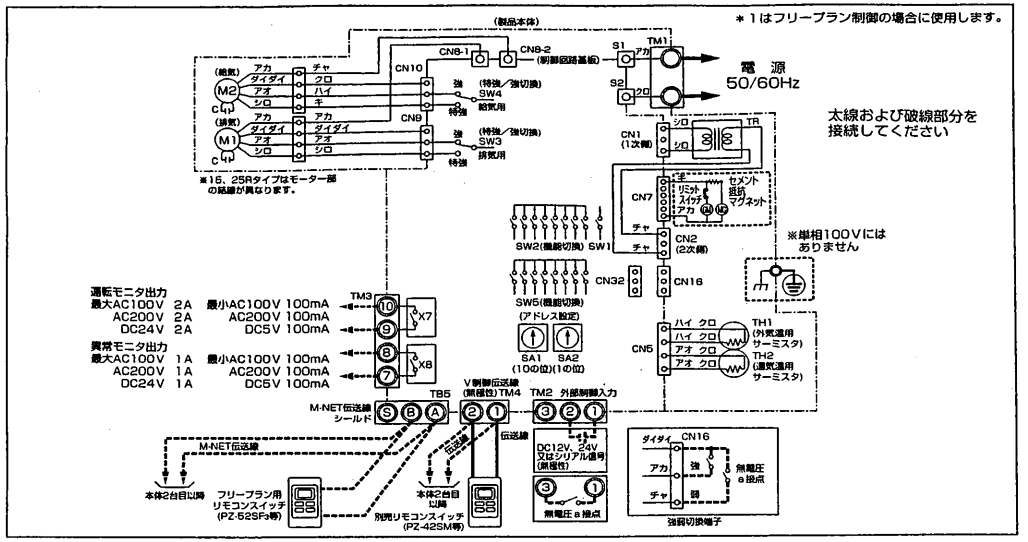


結線図

※太線および破線部分を結線します。

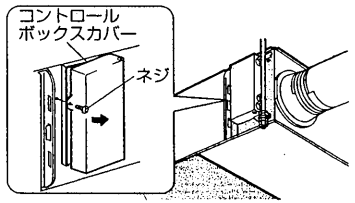
■記号説明(100V、200V共通)

記号	名　称
M1	送風機用電動機（排気）
M2	送風機用電動機（給気）
C	コンデンサ
GM	バイパスダンパ用電動機
TH1	サーミスタ（外気温度検知）
TH2	サーミスタ（還気温度検知）
SW1	主／従切換スイッチ
SW2	機能切換用スイッチ
SW3	特強－強 切換スイッチ（排気側）
SW4	特強－強 切換スイッチ（給気側）
SW5	機能切換用スイッチ
SA1	アドレス設定用スイッチ（10の位）＊1
SA2	アドレス設定用スイッチ（1の位）＊1
TB5	端子台（伝送線接続：無極性2線）＊1
TM1	端子台（AC電源入力）
TM2	端子台（外部制御入力接続）
TM3	端子台（モニタ出力）
TM4	端子台（伝送線・PZ-42SM等接続）
CN16	コネクタ（強弱切換入力）
CN32	コネクタ（遠方入力）
TR	制御回路用トランス
S1,S2	ファストン端子（速結端子接続用）
X7	リレー接点（運転モニタ出力用）
X8	リレー接点（異常モニタ出力用）



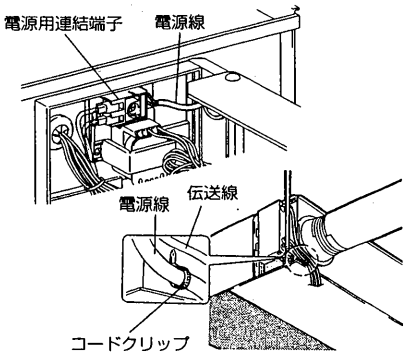
電源線の接続のしかた

1



ネジ1本をはずして、コントロールボックスカバーを開ける。

2

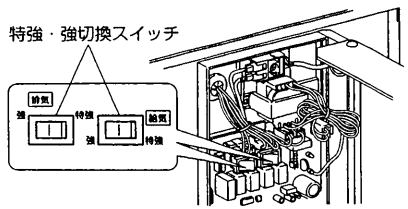


電源線(単線φ1.6 例VVF)を電源用速結端子に表示されている皮むきゲージに合わせ皮むきし、電源用速結端子に確実に差し込む。
●電源線はコードクリップで固定する。

お願い

●電源線と伝送線は、誤動作防止のため5cm以上離して配線してください。

特強・強切換スイッチの切換え

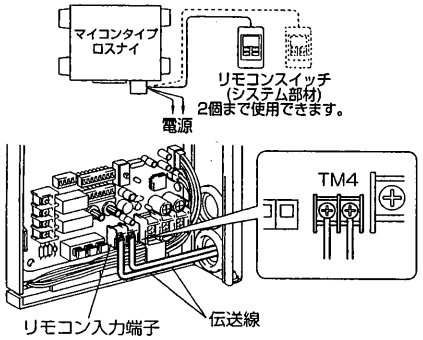


風量を多く必要とする場合や、ダクト配管が長い場合は特強・強切換スイッチを「強」から「特強」へ切換えます。
●工場出荷時は「強」になっています。
●給・排気それぞれ切換え可能です。
●LGH15，25タイプは特強がないため、特強に切換えると停止します。

次のようなシステム構成ができます。必要な部分を接続してください。

1 リモコンスイッチ(PZ-42SM等)と接続する場合
2 「空調機などの外部機器」と連動する場合
3 ビル管理システム等パルス出力機器と連動する場合
4 ロスナイを複数台運転する場合
5 複数の外部機器と連動する場合
6 異常信号を取り出したい場合
7 電動ダンパーなどと接続したり、運転信号を取り出したい場合
8 外部で強弱ノッチ切換をする場合(CO_2センサーなどと接続する場合)
9 遠方/手元切換・発停入力(レベル信号)を使用する場合
10 三菱フリープラン空調機、ロスナイリモコン（PZ-52SF$_3$等）または、三菱ビル空調管理システム(MELANS)と接続する場合

1 リモコンスイッチ(PZ-42SM等)と接続する場合



※ロスナイの集中管理を行う場合はPZ-42SM等は使用できません。
10の結線方法に従いロスナイリモコン(PZ-52SF$_3$等)をご使用ください。

リモコンスイッチからの伝送線(PVC線φ0.65～φ1.2または、より線0.3㎟～1.25㎟電線)をリモコン伝送線入力端子(TM4)の①②に確実に接続する。(無極性)

●リモコンスイッチが2つある場合も同様に接続してください。

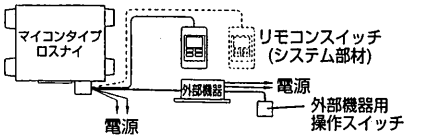
お願い

●端子台のネジは0.5N・mより大きなトルクで締めないでください。基板が破損するおそれがあります。

メモ

1つの入力端子に接続できる伝送線は、PVC線φ0.65または、より線0.3㎟の場合は4本まで、その他の場合は2本までです。

2 「空調機などの外部機器」と連動する場合

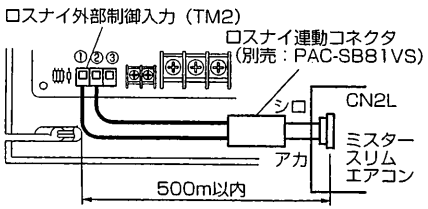


(1)外部機器の出力信号線を外部制御入力端子(TM2)に接続します。

外部機器の出力信号のタイプにより接続方法が異なります。

(2)パルス入力スイッチ（SW2-2）が「OFF」になっているか確認します。
(出荷状態は「OFF」に設定されています)

当社製ミスタースリムエアコン+MAリモコンのとき ……シリアル連動



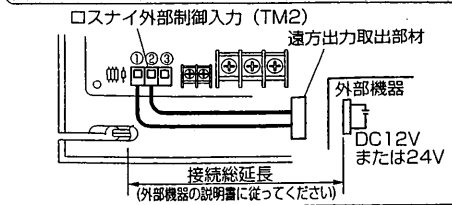
ロスナイ連動ケーブルのコネクタ側をスリム室内基板上のCN2Lに接続し、リード線側をロスナイ外部制御入力端子(TM2)の①、②に接続する。(無極性)

●ロスナイ連動ケーブルと電源線は、誤動作防止のため、5㎝以上離して配線してください。

メモ

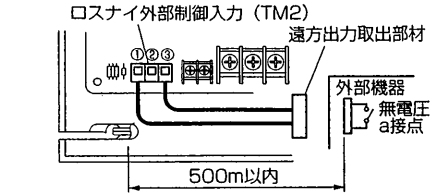
●このシステムではロスナイのリモコンスイッチは使用できません。
●ロスナイの運転／停止および風量の切換えはミススリムのMAリモコンにて行ってください。
●換気モードは「換気モード自動切換」になります。

外部機器の運転信号が有電圧DC12Vまたは24Vとき



●別売の遠方出力取出部材を介して外部機器からの運転信号を外部制御入力端子(TM2)の①②に接続する。(無極性)

外部機器の運転信号が無電圧a接点のとき

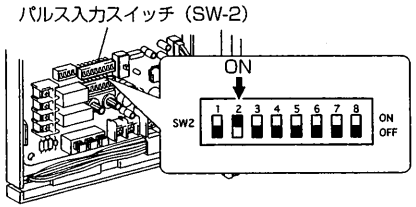


●別売の遠方出力取出部材を介して外部機器からの運転信号を外部制御入力端子(TM2)の①③に接続する。

お願い

●無電圧a接点にフォトカプラ等の有極性接点を使用する場合は⊕側を③に⊖側を①に接続してください。

3 ビル管理システム等パルス出力機器と連動する場合



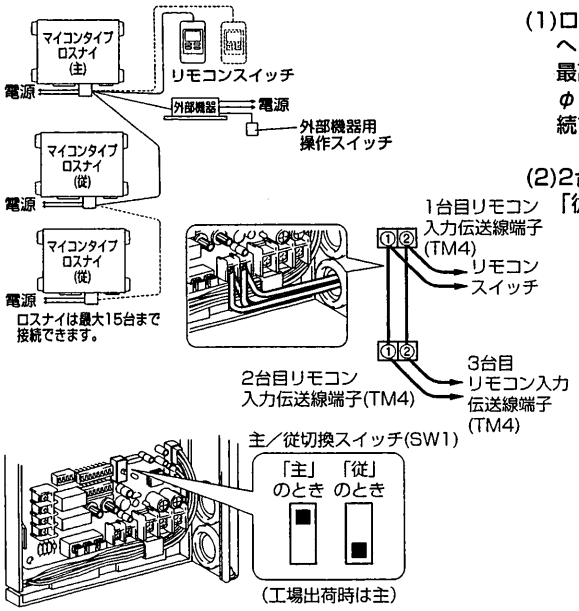
(1)パルス入力スイッチ(SW2-2)を「ON」にします。
(機能設定1「パルス入力の設定」参照)
(2)ビル管理システム等のパルス信号出力を外部制御入力端子(TM2)に接続します。

パルス信号のタイプにより接続方法が異なります

2項「外部機器の運転信号が有電圧のとき」または、「外部機器の運転信号が無電圧ａ接点のとき」を参照してください。

●パルス幅は200msec以上必要です。

4 ロスナイを複数台運転する場合



(1)ロスナイ1台目から2台目へ2台目から3台目へ…
最高15台までを伝送線(PVC線単線φ0.65～φ1.2または、より線0.3㎟～1.25㎟)で接続する。

(2)2台目以降のロスナイの主/従切換スイッチを「従」に切換える。

お願い

●端子台のネジは0.5N・mより大きなトルクで締めないでください。基板が破損するおそれがあります。

メモ

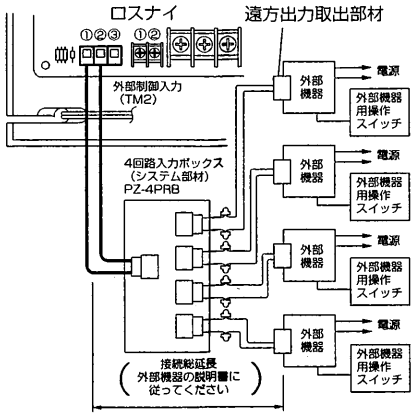
●1つの入力端子に接続できる伝送線は、PVC線φ0.65または、より線0.3㎟の場合は4本まで、その他の場合は2本までです。
●「主」ロスナイのみ外部機器の運転信号・パルス信号の接続ができます。
●各ロスナイはそれぞれに電源を接続してください。

取付方法 つづき

5 複数の外部機器と連動する場合

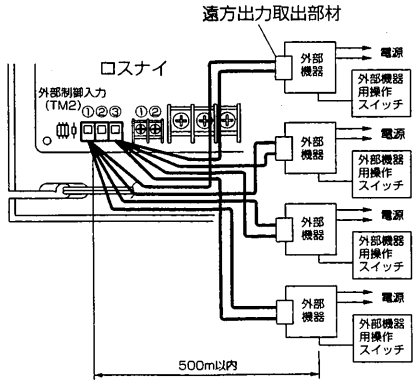
当社製ミスタースリムエアコンのDC12Vシリアル信号は複数台運転できませんので、遠方出力取出部材を介して無電圧a接点信号を利用してください。

外部機器の運転信号が有電圧DC12Vのとき



●システム部材の4回路入力ボックス(PZ-4PRB)を使用して、外部制御入力端子(TM2)の①②に接続する。(無極性)

外部機器の運転信号が無電圧a接点のとき

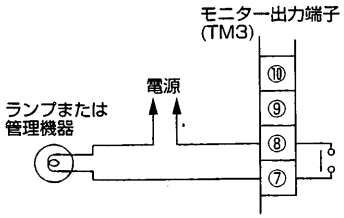


●無電圧a接点で遠方出力取出部材を介して外部制御入力端子(TM2)の①③に接続する。

お願い

●無電圧a接点にフォトカプラ等の有極性接点を使用する場合は、⊕側を③に⊖側を①に接続してください。

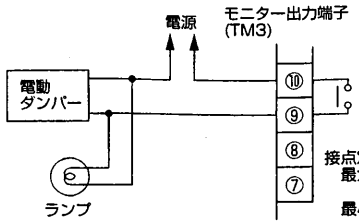
6 異常信号を取り出したい場合



結線図を参照してモニター出力端子(TM3)の⑦⑧に接続する。

接点定格
最大 AC 100V/200V 1A
DC 24V 1A
最小 AC 100V/200V 100mA
DC 5V 100mA

7 電動ダンパーなどと接続したり、運転信号を取り出したい場合



結線図を参照して電動ダンパーからの電源線をモニター出力端子(TM3)の⑨⑩に接続する。

接点定格
最大 AC 100V/200V 2A
DC 24V 2A
最小 AC 100V/200V 100mA
DC 5V 100mA

メモ

●外部入力信号に対する応答時間は、下表のようになります。

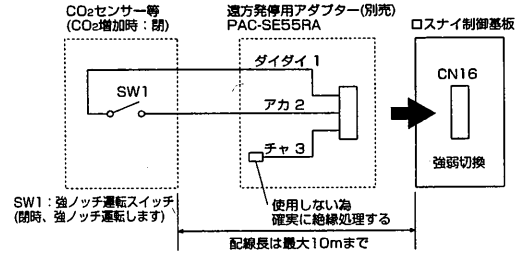
外部信号形態	応答時間
レベル信号	最大7sec
パルス信号	最大200msec

8 外部で強弱ノッチ切換をする場合(CO₂センサーなどと接続する場合)

市販のCO₂センサー等を使用し図のように、コネクタ(強弱切換用)CN16へ別売の遠方発停用アダプター(PAC-SE55RA)を差し込んで結線する。

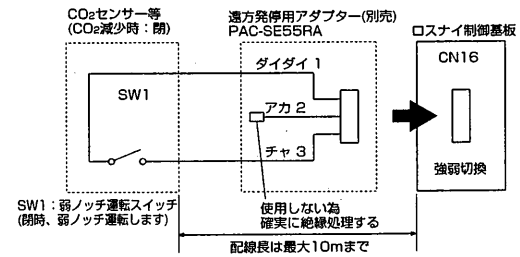
CO₂センサー例：富士電機社製 形名 ZFW1AY11……AC100V用 / ZFW1AY21……AC200V用 (定価11万円)

■外部で強制強ノッチ運転させる場合



SW1 ON時はリモコンの設定に関係なくロスナイの風量は強ノッチとなります。
常時弱運転で換気を行い、外部のセンサーで室内空気の汚れを検知したときに強運転になるような使い方をします。

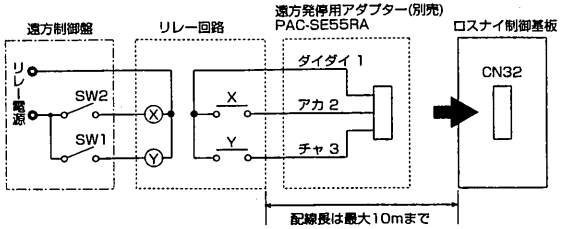
■外部で強制弱ノッチ運転させる場合



SW1 ON時はリモコンの設定に関係なくロスナイの風量は弱となります。
常時強運転で換気を行い、外部のセンサーで室内空気の汚れが少ないときに弱運転となるような使い方をします。

9 遠方/手元切換・発停入力(レベル信号)を使用する場合

ロスナイ制御基板上のCN32へ別売の遠方発停用アダプター(PAC-SE55RA)を差し込む。



SW1 ON時は手元リモコン(PZ-52SF3等)での運転/停止ができません。
SW2 SW1 ON時 SW2のONでロスナイ運転、SW2のOFFでロスナイ停止ができます。

SW1：遠方／手元切換スイッチ
※PZ-41SLBを使用する場合は、遠方／手元切換は使用できません。
SW2：発停スイッチ
X、Y：リレー(接点定格DC1mA)

10 三菱フリープラン空調機、ロスナイリモコン(PZ-52SF3等)または、三菱ビル空調管理システム(MELANS)と接続する場合

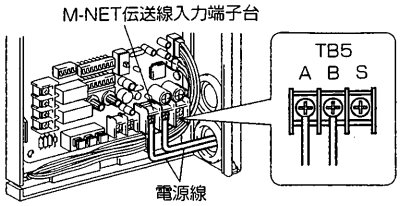
※本項の結線に従い集中管理を行う場合リモコンスイッチ(PZ-42SM等)は使用できません。

アドレス設定が必要です。(機能設定参照)

M-NET伝送線……空調機リモコン、ロスナイリモコンまたは三菱ビル空調管理システム(MELANS)のいずれかをロスナイにつなぎます。

種類(シールド線　CVVS・CPEVS)

線径　1.25㎟～2.0㎟

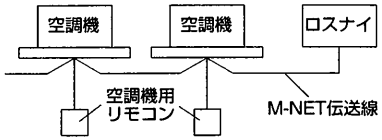


●M-NET伝送線を伝送線入力端子台(TB5)の Ⓐ Ⓑ に確実に接続する。

お願い

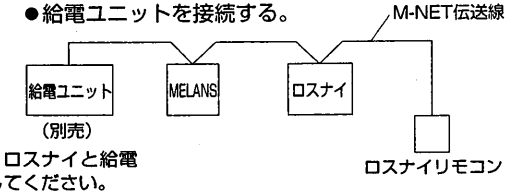
●端子台のネジは0.5N･mより大きなトルクで締めないでください。基板が破損するおそれがあります。

三菱フリープラン空調機を連動する場合



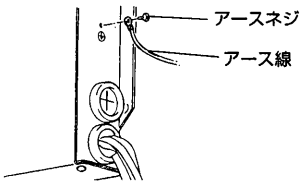
ロスナイリモコンまたはMELANSと接続する場合

●給電ユニットを接続する。



※伝送線の総配線長は500mまでとしてください。なお、ロスナイと給電ユニット(別売)または室外機との配線長は200mまでとしてください。

アース工事 …単相200Vの場合



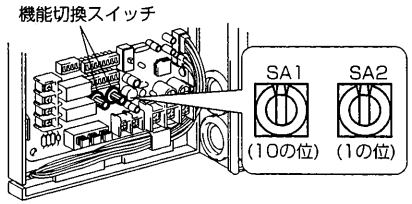
1.コントロールボックスカバーに締め付けてあるアースネジをはずして、アース線を取付ける。

2.結線が終わったら、元通りコントロールボックスカバーを取付ける。

機能設定

三菱フリープラン空調機、ロスナイリモコン、MELANSと接続する場合はアドレス設定が必要です。

アドレス設定のしかた



※アドレス番号を変更しますと、メモリ内のデータが自動的にリセットされます。

ロスナイ専用のアドレス設定をする場合は下記により行ってください。

(ユニットアドレスの決めかたについては現地のシステムにより異なりますので技術資料等を参照してください。)

1.ネジ1本をはずしてコントロールボックスカバーを開ける。

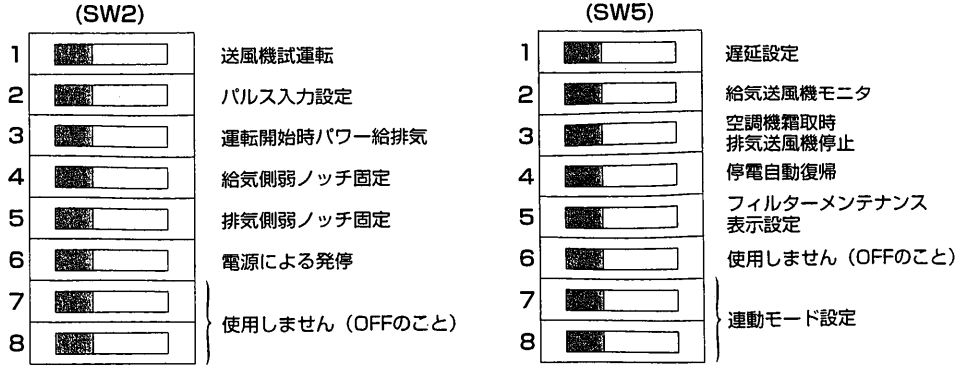
2.基板上のアドレス設定スイッチを、マイナスドライバー等で回す。

●(SA1)は10の位、(SA2)は1の位を示します。

●工場出荷時は「00」です。

機能切換スイッチ(SW-2、5)の切換え

基板上の機能切換スイッチ(SW-2、5)にて必要な機能設定を行います。



1 パルス入力の設定
2 運転開始時パワー給排気の切換え設定
3 マルチ換気モードの切換え設定
4 電源発停機能(PZ-41SLB使用時は設定できません)
5 遅延の設定(空調機冷暖房起動時の遅延動作)
6 給気送風機モニタ
7 空調機霜取時排気送風機停止
8 停電自動復帰の設定(PZ-41SLB使用時は設定できません)
9 フィルターメンテナンス表示の設定
10 連動モードの設定

1 パルス入力の設定

ビル管理システム等からのパルス信号機器を外部入力に接続して利用する場合に設定します。

	OFF ON	モード
SW2	2	パルス入力なし(工場出荷時)
	2	パルス入力あり

2 運転開始時パワー給排気の切換え設定

運転開始時、30分間は強風固定で運転させる場合に設定します。30分後はリモコンからの風量操作に切換わります。夜間停止時に室内の空気が汚れ、運転開始後急速換気したい場合に使用します。

	OFF ON	動　作
SW2	3	通常(工場出荷時)
	3	運転開始時、30分間強風固定

3 マルチ換気モードの切換え設定

使用環境や設置場所に応じた給排気バランスを選択させる場合に設定します。設定できるモードは4種類です。

	OFF ON	モード	動　作
SW2	4 5	パワー給排気 通常(工場出荷時)	リモコンからの風量操作により強（特強）・弱ノッチが切換わります。
	4 5	パワー給気	排気側は常に弱ノッチで運転します。 給気側は強（特強）・弱ノッチが切換わります。
	4 5	パワー排気	給気側は常に弱ノッチで運転します。 排気側は強（特強）・弱ノッチが切換わります。
	4 5	省エネ換気	給排気は常に弱ノッチで運転します。 リモコンスイッチの強/弱によらず省エネ換気固定。

※「強ノッチ」は本体スイッチで「特強」に設定することもできます。
(LGH-15・25Rタイプには「特強」はありません)

4 電源発停機能(PZ-41SLB使用時は設定できません)

ロスナイに供給する元電源(100Vまたは200V)の入・切により運転・停止を行う場合に切換える。

	OFF ON	モード	動作
SW2	6 ■	無効	電源投入時、SW5-4の設定に応じて停止または運転する。(工場出荷時)
	6 ■	有効	電源入・切で運転・停止可能

5 遅延の設定(空調機冷暖房起動時の遅延動作)

フリープランシステムで使用する場合はフリープラン空調機、フリープランシステムを使用しない場合は外部機器が運転開始した時、30分遅れてロスナイが運転するモードです。
(PZ-41SLBを使用する場合は、リモコン側で設定してください)

	OFF ON	モード
SW5	1 ■	遅延動作なし(工場出荷時)
	1 ■	遅延動作30分

6 給気送風機モニタ

	OFF ON	モード
SW5	2 ■	運転モニタ出力 (TM3⑨⑩) 排気送風機に対応(工場出荷時)
	2 ■	運転モニタ出力 (TM3⑨⑩) 給気送風機に対応 (寒冷地対応運転時またはPAC霜取中など給気送風機が停止する場合は運転モニタ出力がOFFになります)

7 空調機霜取時排気送風機停止

当社空調機とダクト接続されている場合で、空調機が霜取運転となったとき(給気送風機停止)排気送風機の運転を設定します。

	OFF ON	動作
SW5	3 ■	排気側送風機運転(工場出荷時)
	3 ■	排気側送風機停止

8 停電自動復帰の設定(PZ-41SLB使用時は設定できません)

停電自動復帰の設定をします。

	OFF ON	モード	動作
SW5	4 ■	自動復帰なし(工場出荷時)	復帰後停止
	4 ■	自動復帰あり	復帰後停電前のモードで運転

9 フィルターメンテナンス表示の設定

フィルターのメンテナンス表示を行わない場合に設定してください。工場出荷時は3000時間に設定されています。(PZ-41SLBを使用する場合は、リモコン側で設定してください)

	OFF ON	メンテナンス時間
SW5	5 ■	3000時間(工場出荷時)
	5 ■	リモコンへのメンテナンス表示なし

お願い

- ロスナイ積算運転時間により3000時間が経過しますと、空調機またはロスナイのリモコンスイッチにフィルターの清掃時間を表示します。清掃後リモコンスイッチの取扱説明書によってフィルターリセットボタンにより積算時間を解除してください。

10 連動モードの設定

外部機器の運転・停止に対してロスナイをどのようにして動作させるか設定します。
(PZ-41SLBを使用する場合はリモコン側で設定してください)

	OFF ON	モード	動作
SW5	7 8 ■	ON/OFF連動(工場出荷時)	外部機器の運転・停止によりロスナイが運転・停止する。ロスナイリモコンまたはMELANSによる後押し操作可能。
	7 ■ 8 ■	ON連動	外部機器が運転すればロスナイも運転。停止はロスナイリモコンまたはMELANSによる。
	7 ■ 8 ■	OFF連動	外部機器が停止すればロスナイも停止。運転はロスナイリモコンまたはMELANSによる。
	7 ■ 8 ■	外部入力優先	外部機器の運転・停止によりロスナイが運転・停止する。外部機器の停止時のみロスナイリモコンまたはMELANS操作有効。

試運転

システム全体の設置完了後、天井板を張る前に誤結線がないか確認し、各システムのリモコン(リモコンスイッチ・外部機器用操作スイッチ)の取扱説明書を参照して試運転を行ってください。

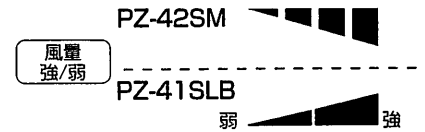
1 リモコンスイッチ(PZ-41SLB・PZ-42SM・PZ-52SF・PZ-52SF3)を使用する場合の試運転

PZ-41SLB、PZ-42SMの場合

1 運転開始

1.ロスナイに電源を供給する。
(「HO」が45秒以内点滅)
2.「HO」表示消灯後、運転ボタンを押す。
(運転ランプが点灯し、ロスナイ運転開始)

2 風量の切換え動作の確認

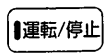


1.風量切換ボタンを「強・弱」に切換える。
(押すたびに強→弱→強が切換わります)
2.ロスナイの給・排気の風量が強／弱に切換わるか確認する。
(SW2の3・4・5がONに設定されていた場合はそれぞれの設定に従います)

3 換気モードの切換え動作の確認

1.換気モード切換ボタンを押す。
(押すたびに「熱交換」固定→「普通換気」固定→「自動切換」→「熱交換」固定と切換わります)
2.ロスナイ本体内のダンパーが切換わるか確認する。
3.メンテナンスカバーを開けダンパーの動作を確認する。
- 外気温度が8℃以下のときは、普通換気に切換わりません。

4 運転停止



運転ボタンを押す。
(運転ランプが消灯し、ロスナイ運転停止)

PZ-52SF・PZ-52SF3等の場合

●ロスナイのみのシステムの場合は、給電ユニット（別売）が必要です。
●ロスナイ、リモコンスイッチのアドレス設定およびグループ登録をします。
アドレス設定、グループ登録の方法はMELAN、またはリモコンスイッチの取扱説明書および取付工事説明書を参照してください。

1 運転開始

運転/停止

運転ボタンを押す。
(運転ランプが点灯し、ロスナイ運転開始)
●リモコンの表示が何もされない場合は、給電ユニットが接続されているか確認してください。
●「HO」表示がでるときは、グループ登録されているか確認してください。

2 風量の切換え動作の確認

風量調節

1.風量切換ボタンを「強・弱」に切換える。
(押すたびに強→弱→強と切換わります)
2.ロスナイの給・排気の風量が強／弱に切換わるか確認する。
(SW2の3・4・5がONに設定されていた場合はそれぞれの設定に従います)

3 換気モードの切換え動作の確認

換気モード　換気　自動
熱交換　普通

1.換気モード切換ボタンを押す。
(押すたびに「換気熱交換」固定→「換気普通」固定→「換気自動」→「換気熱交換」固定と切換わります)
2.ロスナイ本体内のダンパーが切換わるか確認する。
3.メンテナンスカバーを開けダンパーの動作を確認する。
●外気温度が8℃以下のときは、「換気普通」に切換わりません。

4 運転停止

運転/停止

運転ボタンを押す。
(運転ランプが消灯し、ロスナイ運転停止)

2 ロスナイ単独の試運転

■機能切換スイッチ(SW2-1)の説明

	OFF　ON	試運転動作
SW2	1	送風機用電動機（M1、M2）に通電され強ノッチで運転します。 バイパスダンパー用電動機に約1分間通電されダンパー板が動作します。

■下記の手順で動作の確認を行ってください。

1 運転開始

1.ロスナイに電源を供給する。
2.送風機試運転スイッチ(SW2-1)を「ON」にする。
(強ノッチで運転し、約1分間普通換気状態になります)
3.ロスナイ本体内のダンパーが切換わるか確認する。
4.メンテナンスカバーを開けダンパーの動作を確認する。

2 運転停止

スイッチ(SW2-1)を「OFF」にする。

3 システム全体の中でのロスナイ試運転

■空調機または外部機器と連動運転システムの場合
●空調機のリモコンスイッチまたは外部機器用操作スイッチを利用して空調機とロスナイの連動を確認する。
●遅延設定されている場合は(フリープラン空調機の場合は冷暖起動時)遅延時間経過後にロスナイの運転を確認する。

■MELANSシステムの場合
●三菱ビル空調管理システム(MELANS)にてロスナイの運転を確認する。

4 試運転時異常があった場合

現象	処置
リモコンスイッチ(PZ-42SM等)の運転スイッチを押しても運転しない	●電源確認（指定電源単相100Vまたは単相200V、線径φ1.6、開閉器容量） ●伝送線の短絡、断線の確認（伝送端子間電圧がDC9～15Vを確認） ●伝送線と電源線および他の伝送線とが5cm以上離れているか確認 ●試運転スイッチ（SW2-1）にてロスナイ単独で運転を行いロスナイ運転を確認する ロスナイは運転する → 伝送線を点検 ロスナイは運転しない → 電源の確認 ●リモコンスイッチ(PZ-42SM等)が3個以上取付けられていないか確認(最大2個まで)
ロスナイリモコン(PZ-52SF3等)に「HO点滅」	●ロスナイリモコン（PZ-52SF3等）またはMELANSにて登録操作を行う (ロスナイリモコン、MELANSの取付工事説明書による)
ロスナイリモコン(PZ-52SF3等)またはMELANSの運転スイッチを押しても運転しない	●電源確認(指定電源AC100VまたはAC200V、線径φ1.6、開閉器容量) ●給電ユニットの有・無及び電源が入っているか確認(ロスナイのみのシステムの場合、給電ユニットが必要です) ●伝送線の短絡、断線の確認(伝送端子間電圧がDC20～30Vを確認) ●伝送線と電源線および他の伝送線とが5cm以上離れているか確認 ●ロスナイ単独で運転を行いロスナイ運転を確認する ロスナイは運転する → 伝送線を点検 ロスナイは運転しない → 電源の確認
空調機または、外部機器と連動しない ロスナイが停止しない	●パルス入力スイッチ（SW2-2）が「OFF」になっているか確認 ●空調機または外部機器とロスナイ間の伝送線の総延長を確認(技術資料等を参照してください) ●外部制御入力端子（TM2）の接続を確認 有電圧DC12Vまたは24V出力機器の場合　外部制御入力端子　①②に接続 無電圧a接点出力機器の場合　外部制御入力端子　①③に接続 当社製ミスタースリムエアコンの場合　外部制御入力端子　①②に接続 ●空調機リモコン、MELANSにて登録操作を行う（空調機リモコン、MELANSの取扱説明書による） ●遅延設定されているか確認 ●外部機器とロスナイ間の信号線の総延長を確認（技術資料等を参照してください） ●外部機器からの信号線を外部制御入力端子からはずして確認 運転信号：有電圧DC12Vまたは24V出力機器 DC12Vまたは24V／無電圧a接点出力機器 抵抗0Ω／当社製ミスタースリムエアコン DC2～6V(パルス信号) 停止信号：有電圧DC12Vまたは24V出力機器 DC0V／無電圧a接点出力機器 抵抗無限大Ω／当社製ミスタースリムエアコン DC2～6V(パルス信号) ●ロスナイ複数台運転で外部制御入力端子に接続されているロスナイの主／従切換スイッチが主設定になっているか確認またはその他のロスナイは従設定になっているか確認 ●試運転スイッチ(SW2-1)が「OFF」になっているか確認
コントロールボックス内部の点検表示ランプ(LED1緑)が点滅している	2回 ロスナイ側回路の故障 4回 ロスナイ(OA側)サーモ関係の故障 5回 ロスナイ(RA側)サーモ関係の故障 → 電源を切ってお買い上げの販売店にお申しつけください。 点灯 遅延中 → リモコンスイッチ(PZ-42SM等)がない場合は、30分経過後消灯(運転)します
コントロールボックス内部の点検表示ランプ(LED2赤)が点滅している	1回～8回 M-NET通信上の異常 → 電源を切ってお買い上げの販売店にお申しつけください。 点灯 登録操作をしていない → コントローラにて登録操作をしてください ※M-NETを使用しない場合は、LED2の点滅・点灯は異常ではありません
コントロールボックス内部の点検表示ランプ(LED5橙)が点灯している	点灯 100V製品に200Vが印加されている → 電源100Vに切換えてください

■リモコンスイッチに点検ナンバーが点滅表示したときはリモコンスイッチに付属の取付工事・取扱説明書に従って処置してください。
■リモコンスイッチを使用しない場合はロスナイに電源が投入されてから約45秒後に運転します。

三菱電機株式会社
中津川製作所 〒508-8666 岐阜県中津川市駒場町1番3号　電話 0573-66-2111

この説明書は、再生紙を使用しています。